地域教育情報紙　第４４号　　平成19年(2007年)　１１月２６日（月）

エリア ウェッブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL　0553-20-2737
FAX　0553-20-2733

◎ 回覧･配布をお願いします。増す刷り配布はご自由にどうぞ。◎ この情報紙は山梨県庁のホームページでも掲載中です。
http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html

家族の会話を奪う箱…

『家族全員そろっているのに、テレビの音だけが部屋に響き渡っている。』

このような場面は生活の中に見られないでしょうか？

「家族団らん」という言葉を最近あまり耳にしなくなってきました。

テレビが悪いと言っているわけではありません。面白い番組や、ためになる番組も多くあります。

ただ子どもが小さい頃からテレビやビデオを見すぎると子どもの成長に悪影響があるという話もあります。

テレビとうまく付き合うことが大切なのではないでしょうか。

日本小児科学会からの主な提言
《 テレビ漬けの子どもの主な特徴 》

○表情が乏しく視線が合いにくい
○呼んでも振り向かない
○コミュニケーションがとりにくい
○かんしゃくが激しく奇声を発する
○言葉が遅く、会話にならない
○多動で遊びが長続きしない

《長時間視聴は言語発達が遅れる危険性がある》

①２歳以下の子どもにはテレビ・ビデオを長時間見せないようにする。
②テレビを見せるときには、親と一緒に歌ったり、子どもの問いかけに応じたりすることが大切。
③授乳中や食事中はテレビをつけないようにする。
④子ども部屋にはテレビ・ビデオを置かないようにする。

みんなが忙しくて、ただでさえ家族の会話が少なくなってきている現代です。「宿題やったの？」「早くお風呂に入りなさい。」「うるさいなあ。」「うるさいとは何ですか！」こんなとげとげしい会話ばかりでは、家族団らんとは言えないでしょう。

「人生とはな…。」などと難しい話でなくていいのです。「今日、学校でこんなことがあったよ。」「今日のご飯、おいしいね。」などと、平凡なことでいいのです。いや、そんな普通の何気ない会話が大切なのではないでしょうか。

家庭が楽しいと感じている子どもほど学校生活も楽しいと感じている

内外委育　11 月 16 日号より
（小学５年生と中学校２年生２７００人対象）

《親との会話時間》	〔父親〕	〔母親〕
◆ほとんど話さない	28%	10%
◆３０分くらい	36%	28%
◆１時間くらい	17%	25%
◆２時間くらい	7%	16%
◆３時間以上	6%	17%

「家庭がとても楽しい」と感じている子どもでは、55 %が「学校もとても楽しい」と回答しているのに対して、「家庭が楽しくない」という子は 22 %にすぎなかったそうです。

そして、楽しいと答えた子どもは、親とよく話をするそうです。やはり子どもが小さい頃からよく話を聞いてあげる。顔を見てうなずきながら聞いてあげる。そんな小さなことの積み重ねが大切なのでしょうね。

<山梨園芸高校第４７回収穫祭>

１１月１０日（土）山梨園芸高校の収穫祭が行われました。開祭式では全日本ギターコンクールで３年連続「金賞」を受賞している北杜高校ギター部の招待演奏に続き、園芸高校＜すいれき太鼓部＞の演奏が行われました。会場の体育館は、生徒の他地域の方々やことぶき勧学院の皆さんで、満員の盛況でした。すいれき太鼓部の演奏を聞くために参加した方も多いと聞きました。高校生の演奏とは思えないほどの迫力・見事な演奏には、感激しました。

１０時４０分の打ち上げ花火を合図に、大農産物市・模擬店・バザーの販売が開始されました。あいにくの小雨模様でしたが、近隣の住民の方を中心に、どの店にも行列ができるほど多数の参加者がありました。大農産物市では、生徒が授業の中で育てた白菜・ゴボウ・サツマイモ・レタス等の野菜やリンゴ・カキ等の果樹、シクラメン・パンジー・ハボタン等の草花、ジャム・桃の缶詰・たくあん等が安価で販売されてました。一輪車を持ち込んで荷台いっぱいに買い物をする方も見られました。

クラス模擬店では、おでん・焼きそば・豚汁・唐揚げ・カレーライス・お好み焼き・モチ等が販売され、昼食にする以外に、持ち帰る方もいました。

生徒の皆さんの日頃の活動の成果に敬意をはらうと共に、収穫に感謝する一日になりました。

《すいれき太鼓部の定期演奏会》

～小さな森の物語～

日時：平成２０年２月２４日（日）
午後１：３０開場２：００開演
会場：いちのみや桃の里ふれあい文化館

感動的な素晴らしい演奏を、一度は聴いて・見て・感じて欲しいと思います。

お問い合わせは、山梨園芸高校の古郡(ふるごおり)先生（TEL055-262-4135）までお願いします。

《交通事故事例講話》

日時：平成１９年１２月１４日（金）
午後１：２０～約５０分間の予定
会場：山梨園芸高校体育館
講師：市原刑務所・法務技官臨床心理士
渡辺彰一氏

各学校での交通安全指導に役立つよう、峡東管内各学校の職員・保護者にも参加を呼びかけています。

参加希望者は山梨園芸高校の坂本先生（TEL055-262-4135）まで連絡をお願いします。

ママさんパワーで「甲州こどもフェスタ」を実施

１１月７日（水）に塩山ふれあい館で「甲州こどもフェスタ　～遊び・学ぶ・子育て広場～」が開催されました。
昨年は市の主催で開催されましたが、今年は育児中のお母さんたちが主体となり市と共に企画・運営したそうです。「こんなお店を出そう」「こんなイベントはどうかな。」などとアイディアが出され、活気にあふれた様子だったそうです。
当日は、市内外から約 500 人が来場し、予想を超えるにぎわいを見せていました。特におもちゃや絵本の交換コーナーが人気を集め、焼きそばなどの軽食コーナーは長い行列ができるほどでした。
また、自分の手を使って自分に合った食事の量がわかる「手ばかり」の体験、絵本の読み聞かせ、身体測定、親子リズム遊びなどもあり、楽しい一時を過ごしていました。

《親子でリズム遊び》

「本当の豊かさ」とは…
～井上忠男　子育て講演会より～

１１月１５日（木）いちのみや桃の里ふれあい文化館で峡東地区第２回子育て講演会が実施されました。講師に、日本赤十字秋田短期大学教授の井上忠男先生を招き、「豊かさの中で育てる生きる力」について講演していただきました。
次のような話を熱く語られました。

１、秋田県が学力調査日本一の理由
- 大家族が多い。
- 塾が少なく、家族が宿題等をみる。
- 朝食をきちんととる家庭が多い。
- 少人数学級で教えている。

２、本当の豊かさとは？
- 世界の悲しみの上に立っている豊かさは本当の豊かさと言えるか。
- 日本の食料自給率が 40 %を割っているのに、一日に 100 万食が捨てられているコンビニ弁当。
- 難民に「毛布と 700 円」を日本から送るより、現地で毛布を作れば１枚 200 円で新品の毛布を支給できる。
- 援助する側の自己満足に終わらず、本当の意味の援助を考えよう。
- 「もったいない」の気持を大切に生きる、子育てをすることが大切。

帰りの車の中で、井上先生はこんな話をしてくれました。
「アフリカに行ったとき、毎日何人もの死体を見る。慣れっこになるほど。

講演する井上氏

でも 20 時間後に日本に帰ってきて電車の中吊りを見ると芸能人が結婚したとか書いてある。それを見たとき、20 時間前のあの光景は一体何だったのか、そのギャップにあ然とする。」
それは、赤十字の職員として世界の貧困地域や紛争地域を実際に見てきた人でないと言えない重い言葉でした。

新聞・テレビなどでは、毎日のように難民・戦災者・飢えで苦しむ人々が映し出されます。
「気の毒に、何とかできないものか。」と感じます。しかし、数分後バラエティ番組を見て笑っている自分がいることにはっとさせられます。きっとそれは「頭で理解してる」だけで、「自分の身体を通して見る」「心で見る」ことをしていないからだと思います。
「本当の豊かさ」についてもう一度、考えてみたいと思います。

峡東地域の高校紹介の２回目は、山梨高校の内容を掲載します。

実りの秋　山梨高校

吹奏楽部
西関東大会 金賞受賞

9 月 16 日に埼玉県所沢市にて行われた第 13 回西関東吹奏楽コンクールにて、本校吹奏楽部が金賞を受賞しました。山梨高校 90 年の歴史の中で初受賞という快挙です。この大会に向けて 9 月まで引退せずに頑張った 3 年生を中心に大きな成果を残しました。

強歩大会

11 月 2 日に第 32 回強歩大会が実施されました。地域の方々や数多くの保護者の協力の下、山梨高校から切差までを往復する 22.2 ㎞のコースを走り抜きました。当日はやや肌寒い曇り空でしたが、強歩大会には絶好のコンディションで、例年よりも速いペースでレースが展開されました。男子は 3 年生村田祐次くんの 3 連覇、女子は 2 年生武藤萌さんの初優勝で幕を閉じました。

三澤満利子さん
芸術文化祭
将棋部門 ２連覇

11 月 4 日に開催された芸術文化祭将棋部門において、2 年生の三澤満利子さんが芸術文化祭賞（優勝）を受賞しました。三澤さんは昨年も同賞を受賞しており、芸術文化祭 2 連覇となります。12 月には群馬県にて関東大会に、1 月には秋田にて全国新人大会に挑戦してきます。

満面の笑みの三澤満利子さん

卒業生の熱いメッセージ　～創立90周年式典～

10 月 19 日、山梨高校 90 周年式典が開かれました。式典の後には本校卒業生で、第 45 回日本レコード大賞作曲賞を受賞した音楽プロデューサーの松本良喜さん、童謡歌手でテレビ山梨「おんがくのかぜ」にレギュラー出演している雨宮知子さんによるジョイントコンサートがありました。2 人は本校で同級生だったこともあり、息の合った演奏は見事でした。在校生へのメッセージも送っていただき、生徒にとっても思い出深い式典になったことと思います。

創立90周年式典を
学校関係者ら祝う
山梨高

山梨高（三井誠校長）は十九日、同校で創立九十周年記念式典を開いた。生徒や学校関係者ら約千人が出席。三井校長が「地域や同窓生らさまざまな人に支えられて今の本校がある。さらなる発展へ今後も努力していきたい」と式辞を述べた。

式典後には、同校卒業生で音楽プロデューサーの松本良喜さんと童謡歌手の雨宮知子さんによるコンサートがあり、九十周年に花を添えた。

コンサートも開かれた山梨高創立90周年記念式典
＝山梨高

10 月 20 日の山梨日日新聞でも紹介されました。